

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査 いわき市の分析結果（小学校の概要）

## 学力調査の結果から

	国 語		算 数		理 科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
いわき市	9.1/14	65%	9.8/16	61%	10.5/17	62%
福島県	9.0/14	64%	9.7/16	61%	10.5/17	62%
全 国	9.2/14	65.6%	10.1/16	63.2%	10.8/17	63.3%

### 国 語

内 容	平均正答率	全国平均正答率
話すこと 聞くこと	60.8%	66.2%
書くこと	48.1%	48.5%
読むこと	62.2%	66.6%



国語の勉強は好き

67.5%（全国比+8.3）

国語の授業の内容はよく分かる

86.4%（全国比+2.4）

### 算 数

領 域	平均正答率	全国平均正答率
数と計算	67.3%	69.8%
図形	63.0%	64.0%
変化と関係	49.6%	51.3%
データの活用	65.4%	68.7%

算数の勉強は好き

66.3%（全国比+3.8）

算数の授業の内容はよく分かる

82.3%（全国比+2.1）



### 理 科

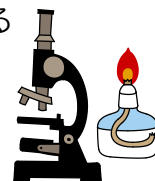
領 域	平均正答率	全国平均正答率
エネルギー	51.1%	51.6%
粒子	58.0%	60.4%
生命	74.8%	75.0%
地球	62.7%	64.6%

理科の勉強は好き

84.6%（全国比+4.9）

理科の授業の内容はよく分かる

90.3%（全国比+1.8）



## 問題別調査結果から見た課題とその手立て

○（課題） →（手立て）

### 【国語】

- 物語全体を通して、相互関係について描かれている複数の描写に着目しながら読む  
→物語の一部だけを取り上げて登場人物の総合関係について考えるのではなく、物語全体を通して、総合関係について描かれている複数の描写に着目しながら読むことができるように指導する。
- 目的や方向性を検討すること、話合いの展開や内容を踏まえて互いの意見を整理すること、様々な視点から検討して自分の考えをまとめることなどを意識させる。

### 【算数】

- 絵や図をもとに式や数値の意味をとらえる  
→ 絵や図をもとに数量の関係に着目したり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりする活動を取り入れる。
- 図形の意味や性質を基に、辺の長さや角の大きさに着目し、図形の構成について考察する  
→ 操作活動やICTを活用し、図形の構成について視覚的に理解できるようにする。  
→ 言葉や式を使い、自分の考えを筋道立てて書かせる。

### 【理科】

- 予想や仮説を基に見通しをもった観察や実験の実施し、結果から分かったことを多面的に考察する  
→ 主体的に課題に取り組む事象を提示し、学び合いを通して多様な考えに触れさせる。
- 器具を使用する目的を考えさせながら、実験器具の技能を身に付ける  
→ 実験方法や計画を主体的に立案する場をもつ。

## 正答率に大きく影響のあった学習活動 ～児童質問紙から～



- ・ 自ら課題に取り組む
- ・ 自分の考えを広げる、深める
- ・ 学習した内容を振り返る

※ これらの質問に「当てはまる」と回答した児童は「当てはまらない」と回答した児童よりも、国語・算数の正答率が約10～20ポイント高かった。



学習活動の効果を上げるために  
学校全体で取り組むこと

- 課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組む学習を行う（※ 学校質問紙「よく行った」11.5%（全国比 -7.8）
- 授業の目標（めあて・ねらい）を示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れる。

## 家庭での過ごし方

平日のテレビゲームをする時間（全国比）  
4時間以上 15.4%（-1.8）  
2～4時間未満 62.2%（+3.3）  
1時間～2時間未満 23.4%（-1.5）  
1時間未満 23.6%（-0.1）

※ 時間が長いほど正答率が低い。  
（「4時間以上」と「全くしない」との正答率の差は各教科で約10～20ポイント）



- 規則正しい生活を送る
- 家庭学習の時間を確保する。
- 家庭内のルールをつくる

学力を支える要素にも・・・

自分にはよいところがある  
79.3%（全国比±0）  
地域の行事に参加している  
48.9%（全国比-3.8%）